

JPDS による補足説明 2022.11.16

2023 年から WUSV 世界選手権に出場するには、展覧会の、若犬クラス、未成犬クラス、成犬クラスのいずれかに最低一回出陳して、最低 G 以上の評価を獲得した証明書が必要です。

(注：SV/WUSV 規定においては幼犬クラス(12 ヶ月未満)の犬に G 以上の評価を与えることを禁じています)

この新しい規定は 2020 年 1 月 1 日以降に生まれた犬に適用されます。2019 年 12 月 31 日以前に生まれた犬は必要ありません。

(例：2021 年 12 月 10 日生まれの犬が、2022 年 12 月 18 日に開催される展覧会の若犬クラスに出陳して、G 評価あるいは SG 評価を獲得した場合、その G または SG 評価証明書は一生有効となります)

2022.10.28 WUSV 事務局からのお知らせ

関係者各位－WUSV 加盟協会の皆さま

この書簡には、WUSV 世界選手権 IP（国際試験規定）の、実施規則の最新版が添付されています。WUSV ホームページ（www.wusv.org）にも掲載されています。

2023 年以降、WUSV 世界選手権 IP 出場犬は、展覧会で獲得した評価証明書の提示が必要になります。詳細は下記の施行規則（抜粋）をご参照ください。

私たちの WUSV 組織の目的は、繁殖活動が最も重要であるとの観点から、この条件の追加が決定されました。もちろん WUSV において、ドッグスポーツは中心的な役割を担っていることは言うまでもありません。特に WUSV 世界選手権 IP は、大きな役割を担っています。しかし、ドッグスポーツで活躍す

る以前に、私たちの犬は WUSV 繁殖プログラムに基づく繁殖のための条件を満たしている必要があります。

このお知らせを会員ならびに関係各位にご周知くださいますようお願い申し上げます。皆さまのご理解とご協力に感謝いたします。また、ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

よろしくお願ひします。

WUSV 理事会

WUSV 世界選手権 IP 実施規定抜粋
2023 年 1 月 1 日より有効

1. 総則

WUSV 世界選手権「IP」は、WUSV 国際試験レベル 3（現行の IGP3 に相当）の審査規定に基づく複合評価で構成されている。

追求
服従
防衛

各国の加盟協会によって選抜された犬だけが出場することができる。

出場犬は、前回の WUSV 世界選手権以降から今回の世界選手権までの間に、今回の世界選手権に出場するハンドラーによって、各部門 80 点以上かつ合計得点 250 点以上で WUSV-IP3 または IGP3 に合格していなければならない。そして、その試験結果の証明書を申込みの際に提出することが必要。

出場犬は、WUSV が認定する血統書を保有していること。

各出場犬は、WUSV/SV 承認の HD/ED 検査結果：normal（正常）fastnormal（ほぼ正常）noch zugelassen（許容範囲）が必要。

（FCI 検査の場合：A,B,C,あるいは 0 または 1 の検査結果が必要）

この規定は 2018 年 1 月 1 日以降に生まれた犬にのみ適用される。

さらに、生後 12 ヶ月以上（若犬以上）で「gut (G)」以上の展覧会評価を獲得したことを証明するコピーを提示することが必要。

この規定は 2020 年 1 月 1 日以降に生まれた犬にのみ適用される。

各国加盟協会は、最大 5 名の出場者と 1 名の補欠を申込むことができる。それに加えて、前年の世界チャンピオン（犬とハンドラー）は別枠で出場することができる。

世界選手権において、各ハンドラーが出場さ

せることができるのは1頭のみ。

評価

- 1) 300点満点とする
- 2) 同点の場合は規定に従い順位を決定する

チーム成績

チーム成績は、各国代表犬のうちの上位3頭の得点を合計して、それによって順位が決定される。